

石川県立看護大学 スケジュール等

HP	https://www.ishikawa-nu.ac.jp/
受入が難しい日程	前期:2/25 後期:3/12
	オープンキャンパス(予定) 夏:7/13 秋:10/12 大学祭(予定) 10/19

連絡事項：備考欄に「PC使用」の記載がない講座については、講師がPCを持参します

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	オンライン 対応	中学生 対応
看護学部						
1	身近な病気について 学んでみませんか?	中高生の学習の一貫のなかで学んでみたい病気はありませんか。看護学生におこなっている講義を基に、噛み砕いて病気のお話をします。	保健・治療学 教授 岩佐 和夫	・プロジェクター、スクリーン 使用 (内科疾患となります。)	可	可
2	一步先行く看護へ ～看護工学の世界～	少子高齢化が進行する社会において、ますます重要性を増す看護学では、様々な分野の連携(看護理工学)によって革新的な看護技術が次々と生み出されています。この講座では、そうした看護理工学研究の最先端を分かりやすく紹介します。	教授 峰松 健夫 教授 大貝 和裕	・プロジェクター、スクリーン 使用	可	可
3	スキンケアで健康な心身を保てる?	皮膚は人体の中で唯一見て触れることのできる臓器です。皮膚に異常が発生すると痛みやかゆみ、セルフイメージの悪化などで心身両面から生活の質を低下させます。したがって、健康な皮膚は健康な生活の基盤と言えます。看護師はいかに患者さんの皮膚を守るのか、具体例を交えて分かりやすく解説します。	教授 紺家 千津子 教授 大貝 和裕	・プロジェクター、スクリーン 使用	可	可
4	テクノロジーを活用した 近未来の看護を知ろう	看護の技術は「art(アート)」であるといわれ、掌(てのひら)を使った技術のイメージが強いですが、実際看護師の周りは体温計や血圧計、人工呼吸器など様々な機器であふれています。最近では体表の温度を可視化するサーモグラフィや体内を可視化する超音波による診断装置など、ますます新しいテクノロジーが看護に導入され始めています。本講座ではこのように以前とは少しずつイメージが変わってきている、特に機器やテクノロジーを活用した、近未来の看護について紹介します。	共同研究講座 ウェルビーイング看護学 共同研究講座 教授 松本 勝 共同研究講座 講師 幅 大二郎	・プロジェクター、スクリーン、 マイク等使用 ・対応可能時期：応相談	可	可
5	レジリエンス・トレーニング講座： ダメな自分もOK! ストレス・イライラと上手に付き合っ心楽になる	生きていらいやなこともある。それでも、自分が自分として生きていくこと、小さくても自分の使命を見つけて、いろんな人の助けを借りながら誰かの役に立つことは大きな価値があるし、喜びがある。そんなことを一緒に考えて、何か一つでも気づきを持って帰ってもらえたらと思います。	小児看護学 教授 戸部 浩美 講師 千原 裕香 助教 後藤 亜希 助教 西 真理子	・プロジェクター ・対応可能時期：応相談	可	可
6	看護職に必要なスキル	看護職になるために基礎となる看護技術(コミュニケーションや日常生活援助、対象理解など)について学びます。	基礎看護学 教授 石川 倫子 准教授 木田 亮平 准教授 寺井 梨恵子 講師 石井 和美 講師 田村 幸恵	・PC、プロジェクター、スクリーン 使用 ・対応可能時期： 10月中旬～2月 (水・金を除く)	可	可
7	「保健師」ってどんな人? 地域で働く保健師の魅力☆	地域には、子どもから高齢者まですべての人々が健康に暮らせるように、「保健師」がいます。新型コロナの感染対策、企業や海外で健康をまもる保健師もいます。「保健師」ってどんな人なんだろう?保健師のお仕事や魅力をお伝えします。	地域看護学 教授 米澤 洋美 教授 塚田 久恵 助教 室野 奈緒子 助教 嶋 雅奈恵	・PC、プロジェクター、スクリーン 使用 ・実施可能時期： 9～12月	可	可
8	カラダを診察するように 私たちの住む市町を診察しよう "地域アセスメント"	皆さんが住んでる市町は健康ですか?地域で働く看護職に保健師がいます。看護師がカラダを診察するように、保健師が市町の健康を診察します。その体験をしてみましょ。	地域看護学 教授 米澤 洋美 教授 塚田 久恵 助教 室野 奈緒子 助教 嶋 雅奈恵	・PC、プロジェクター、スクリーン 使用 ・実施可能時期： 9～13月	不可	可
9	高齢者の生活・療養を支える 新たな看護技術	社会の変化とともに高齢者を取り巻く環境も変化しています。高齢者を取り巻く環境や、高齢者の生活・療養を支える新たな看護技術を紹介します。	老年看護学 教授 北村 言	・プロジェクター、スクリーン 使用 ・実施可能時期： 8～9月頃	可	可
10	生命誕生を迎える家族の支援 について学ぼう -妊婦・新生児の看護体験から-	少子化社会で妊婦さん、赤ちゃんに出会うことが少なくなってきました。今回は、妊婦や新生児モデルによる疑似体験を通じて、生命の誕生を迎える家族の支援のうち、特に母親と新生児への看護職の役割についてお話しします。	母性看護学 教授 米田 昌代 講師 桶作 梢 助産看護学 教授 亀田 幸枝 講師 曾山 小織 助教 河合 美佳	・PC、プロジェクター、スクリーン 使用 ・教材「妊婦モデル・新生児モデル」は本学が持参 ・実施可能時期:8～9月	不可	不可

No.	講座名	講座の概要	講師名	備考	オンライン 対応	中学生 対応
11	生と死について考える デスカフェを体験しよう	普段あまり考えることのない死についてカジュアルに語り合うことを通して、生を見つめてみたいと思います。 グリーフケアについても少し、ふれていきます。	母性看護学 教授 米田 昌代	・10人程度 ・プロジェクター、スクリーン 使用 ・実施可能時期:応相談	可	可
12	思春期のころと健康	ストレス社会と言われる現在で、思春期のころの変化や気をつけること、生活の工夫についてお話しします。発達障害やうつ病、自殺予防についてみんなで考え、自分自身のこと、周りの人も助けられるようなあり方を考えていきましょう。	精神看護学 講師 大江 真吾	・プロジェクター、スクリーン 使用	不可	可
13	『善の研究』を読もう	日本で最初の哲学書とも言われる西田幾多郎の『善の研究』を読みます。「純粹経験論」とはなにか？/この世界は何でできているのか？/よく生きるってどういうこと？/自由に生きるってどういうこと？など。ご希望のテーマでお話しします。一緒に考えてみましょう。	哲学・生命倫理学 講師 中嶋 優太		可	可
14	哲学カフェー哲学をしてみようー	「哲学」と聞くと、難しいことのように感じるかもしれませんが、簡単に言えばそれは「考える」ことです。カフェでおしゃべりをするような気軽さで身近なテーマについて考えます。大人と子どもどちらが自由か？/最近、イラッとしたこと/結婚に愛は必要か？/義理チョコは必要か？など、何でも哲学のテーマになります。絵本を題材に考えるテーマをつくることもできます。	哲学・生命倫理学 講師 中嶋 優太	・5名～15名程度 (大人数の場合は要相談)	可	可